



医院風景

予防・メンテナンスの 重要性を地域に浸透させたい

石川歯科医院

院長 石川毅彦さん

石川歯科の院長、石川毅彦さんにお話を伺った。

石川歯科は、平成三年に開院。当初は虫歯治療と入れ歯作成が中心であったが、現在は予防歯科・歯周病治療に力を入れている。

十年前、介護審査員を務めたとき、要介護認定を受ける方々の様子に愕然としたそうだ。「彼らには、等しく歯がなかったのです」といわれる。歯周病で歯を失っていたのだ。実は成人の八割は歯周病。しかし、痛みがないので多くの人は気づかず、歯周病は進行していくばかり。

十年前のこの経験から、それまで以上に歯周病治療、そして予防歯科の大切さを認識

するようになった。「歯周病を治し、予防歯科に力を入れることで、多くの方の健康長寿に貢献できれば、と思っています。笑顔があふれる、幸福な社会になっていけばいいですね。」と話される

「いろいろな施設の高齢者に『楽しみはなんですか?』と尋ねてみると、五割以上の方が『食べること!』とおっしゃいます。歯をなくすと確実にQOLが低下します。(QOL: Quality of Life 『生活の質』と訳され、人間らしく、満足して生活しているかを評価する概念のこと) 入れ歯にはストレスが伴います。ご飯がおいしくないと言われる方が多いですね。インプラント

院長／担当：歯周病、予防歯科、入れ歯(左)

副院長(奥様：孝子さん)／担当：矯正歯科、インプラント、小児歯科(右)





防音とプライバシーが保たれる診療室

も本物の歯に及びません。インプラントが一本三十〜四十万円とするなら、本物の歯は一〇〇万円ぐらいの価値があると思いますよ。」

また歯周病は全身の病気と密接な関係があるそうだ。「その原因である細菌が血液から全身に巡り、体の臓器や器官に侵入し、さまざまな病気を引き起こします。心臓病や脳卒中にかかるリスクは二〜三倍に上がります。また糖尿病や肥満のある人には歯周病が多く、しかも重篤になりやすいことが分かっています。それに認知症も関係しています。歯周病を防ぐことが脳血管性認知症のリスクを減らします。」



デジタルエックス線撮影機

歯周病が動脈硬化を促進させます。また歯の本数が少ない人ほど脳の萎縮が進んでいたという報告があります。逆に噛むことで脳が活性化され、アルツハイマー型認知症を予防できるのです。」

国の財政にも深いつながりがあるという。「歯周病患者を半減できるなら、国民医療費をかなり削減できます。」

歯周病ケアに大事なことは？と聞いてみた。「まずは、歯周病治療に取り組んでいる医院を探し出し、診察を受けることです。そしてそこで定期的に予防・メンテナンスをすることです。」

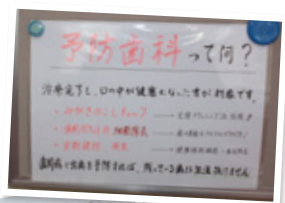
個人でできる大切なことはなんだろう？「適正なブラッシングを続けることです。歯間ブラシ、糸ようじを使うことも大切です。予防の主役は患者さん自身です。」と言われる。

さて石川歯科の特長を伺ってみました。

一つは患者さんへの啓発。虫歯等で来院された患者さんへ歯周病ケアの大切さを熱心に説明する。小児歯科の分野でも、小さいうちから口腔衛生の大切さをいわば「すり込む」努力を払う。こうして今では大人五〇〇人、小人三〇〇人が予防管理のため定期的に来院されるそう。ほとんどが健康な人たちだ。

別の特長は、従業員をプロとして扱うこと。専門家としての役割分担を明確にしている。一人何役もさせない。ある面厳しさもある。しかし、「従業員の皆さん一人一人には、専門家としての自覚とプライドがあります。やる気を持って仕事に取り組む事ができていると思います。目が輝いていますよ。」といわれる。

また技術力向上のために従業員教育に熱心に取り組んでいる。資格取得も奨励している。良好な労働環境にも心がけている。「うちはベテランが多



いですね。結婚そして出産後も勤務していただいています。」と話される。労働条件には自信があるという。また二ヶ月に一回はボウリング大会や食事会などのレクリエーションを行う。「大川市内のほとんどの飲食店は利用していますね。(笑)」。

さらに予約時間を厳守し、患者さんとの信頼関係を強固にしている。

また院内の衛生環境には人一倍気を使う。滅菌と消毒の専門職員を配置している。他にはあまり見られないそう。歯科医院には血液・唾液から肝炎ウイルス感染などの可能性があるからだ。インプラントの治療の特診室は、外科の手術室と同レベルの滅菌状態にしてある。

夢は何だろうか。「歯周病を治し、予防・メンテナンスを継続する重要性を地域に浸透させていきたいですね。その価値に気づいている方はまだまだ少ないです。その啓発活動に力を入れていきたいです。元気で若々しい高齢者へと導くことが私の究極の使命と考えています。今回の木工まつりには、医院スタッフ共々、パレードと長縄選手権に参加しました。啓発活動の一環です。コスチュームは口腔衛生をアピールするものでした。こうした試みが地域住民の皆さんの笑顔と幸福社会につながっていくといいと思います。」



木工まつりパレードの様子



従業員の皆さん